

2019 年度会員委員会からの提言

I. はじめに

会員委員会は、YWCA の運動を円滑にすることを目的に、2019 年度 2 回の会員集会を開いた。公益財団法人移行後 8 年間で事業が拡大される一方、会員活動においては課題が山積していることが浮き彫りとなり、将来的に東京 YWCA が女性団体としてどうあったらよいか、次の時代にどうつなげていくのか、これからを考える時期に来ていることが明らかとなった。会員集会で出された会員の声を集約し、課題を明らかにして、その解決策を以下のようにまとめた。

II. 明らかとなった課題

- ① 職員との協働
- ② 新しいことをはじめめる仕組み
- ③ 交流する場
- ④ 会員を支援する体制
- ⑤ 新しい人を受け入れる受け皿
- ⑥ 会員グループの見直し
- ⑦ 拠点の位置づけ

III. 課題に対する提言をつぎのようにまとめた

提言 1 新しいことをはじめめる仕組みに関して（課題②、⑤、⑦）

【「会員が活動しやすい組織づくりを考えるプロジェクトチーム」を設置し課題に取り組む】

- ・新しい企画や活動を実現できるしくみ
 - ・拠点から地域へ発信するしくみ
 - ・漠然と関心をもって訪ねてくる新しい人を受け入れる場としくみ
- *板橋案を参考として。

提言 2 交流に関して（課題①、③、④）

【担当職員を配置して次の課題に取り組む】

- ・公益目的事業と会員グループの会員をつなぐ連絡会や交流などのしくみ

【「東京 YWCA 会館ロビーについて考える委員会」を設置する】

- ・会員が気軽におしゃべりできる場

提言 3 会員グループに関して（課題①、④、⑥）

【担当職員を配置して次の課題に取り組む】

- ・会計処理の適正化
- ・会員グループの企画を公益目的事業につなげる
- ・会員活動を支援する体制

【会員委員会が次年度以降に取り組む】

- ・理解普及事業（他 1）に当てはまらない会員グループの見直し